

市民建設委員会 意見交換会実施状況

1. 日 時 令和8年1月13日 17時00分～19時00分
2. 開催場所 坂出市役所 本庁舎4階 委員会室
3. 出席議員 小笠原委員長、前川副委員長、植原委員、寒川委員、大藤委員、大前委員
4. 対象団体 坂出商工会議所
坂出市地域おこし協力隊

5. 実施内容

小笠原委員長、商工会議所会頭それぞれの挨拶、参加者による自己紹介が行われた後、自由討議の形態で意見交換を行った。

主に下記の意見が出された。

①坂出駅は四国4番目の乗降客数を誇り、また、高速道路のインターチェンジが3つあることから、交通の面で非常に利便性に優れているが、現状ただの通過点となっており、市内に立ち寄ってもらうための工夫が必要である。

また、市、観光協会、商工会議所、交通事業者、宿泊・飲食業者間の役割分担が曖昧で、施策が長続きしておらず、定期的な交流会を開催するなど連携強化が必要である。行政からの視点だけではなく、広域的な視野を持ち、観光振興をサポートする仕組みの構築を求める。ホテル・民泊など宿泊施設整備を行い、香川県を周遊する拠点となれるようまちづくりを行ってほしい。

②SNSを活用し、お店や地域のお祭りなど旅行者目線の「そこにしかないもの」を発信することが大切である。インバウンド対応としては観光スポットよりもその土地の自然や歴史が興味を引く傾向にある。イン

スタグラムでの写真投稿やT i k T o kによる短尺動画をうまく活用しPRしてほしい。

③花火大会等集客が十分見込めるイベントがある一方で、^{ひかり}光輝里フェスティバルなどは来場者が減っている。市に訪れる観光客数、動向を把握分析し、ニーズを理解した上でイベントの目的を設定しなければならず、具体的な誘致目標（KPI）を設定することが必要である。

④旅行に行った際、多くの方が観光案内所に立ち寄る。坂出市の観光案内所は目立たず利用者が少ないため、華やかな雰囲気を作り、目立つようにしてほしい。

⑤岸壁の崩れや空き家など、景観に悪影響を及ぼすものが長期にわたり放置されている。市としてやらなければならないことをしっかりやってほしい。

⑥老舗うどん店において後継者不在や、駐車場不足などによる近隣トラブルでの閉店が起きている。人気店の廃業は地域の魅力損失に繋がる。大きな要因である駐車場問題に対し、個人店での対応は難しいため市が支援を行ってはどうか。

最後に、前川副委員長より、坂出市は駅前再開発に伴い大きく変わっていく転換期にある。人を呼び込み、市が発展していけるようお願いした意見を今後の議会活動に生かして鋭意取り組んでいきたいとの挨拶があり、意見交換会を閉会した。
